

令和6年度広島市教員研修計画について（報告）

- 令和5年度教育センター研修効果測定結果（報告） 資料1
- 人材育成基本方針及び育成指標を踏まえた教員研修計画—概要— . . . 資料2
- 校長及び教員としての資質の向上に関する指標 資料3
- 校長及び教員としての資質の向上に関する指標（研修マップ） . . . 資料4
- 令和6年度広島市教員研修計画（案） 資料5
 - ・ 「新たな教師の学びの姿」の実現を目指した研修
 - ・ 効率的・効果的な研修
- 令和6年度研修形態について 資料6

令和 5 年度教育センター研修効果測定結果（報告）

1 受講者によるアンケート

(1) 研修直後（満足度・理解度・振り返り・活用意識の 4 観点を 4 件法で回答）

- ・ 回答数 4,881 名（全 69 研修）

観点	満足度	理解度	振り返り	活用意識
肯定的評価 (%)	97.1	97.2	98.2	97.2
(参考)昨年度 (%)	97.2	96.1	98.3	97.1

- 全ての観点において、肯定的評価の割合が 97%以上。

(2) 受講 1 年後（研修内容の活用、教育実践の手応え、自身の成長の 3 観点を 4 件法で回答する他、所属長所見もあり）

- ・ 回答数 70 名（所属長の推薦を受けて受講する研修 5 研修）

観点	研修内容の活用	教育実践の手応え	自身の成長
肯定的評価 (%)	94.3	74.3	88.6
(参考)昨年度 (%)	93.9	82.3	97.0

- 受講後も研修内容を活用し、自身の成長を感じられており研修効果が認められる。
- 受講後、受講者の立場や役割が変わることも想定しつつ、研修内容の充実・改善を図る。

2 指導主事等による評価（各研修のねらいに沿った規準を設定し、理解度・活用度を評価）

(1) 理解度…研修内容活用シート等に記載された「キーワード」の頻出度による評価

- ・ 延べ評価者数 5,494 名

研修種別	経験年次 (13/13 研修)	管理職 (6/6 研修)	主任・主事 (9/9 研修)	職務別 (14/14 研修)	所属長推薦 (4/4 研修)	申込 (21/21 研修)	全平均
頻出度 (%)	99.3	99.0	98.3	99.4	100	98.5	99.0
(参考)昨年度 (%)	99.2	97.2	98.6	98.0	99.5	98.6	98.6

- 全平均で 99%の頻出度があり、研修内容の理解が進んでいる。特に管理職研修、職務別研修では、内容の焦点化や資料の改善を行い、理解度が昨年度より向上した。
- 引き続き、研修内容の理解が深まるよう、内容を焦点化した説明やニーズに応じた資料提供をする。

(2) 活用度…研修の提出物（実践報告書・指標に基づく振り返りシート等）による評価

- ・ 延べ評価者数 4,438 名

研修種別	経験年次 (13/13 研修)	管理職 (6/6 研修)	主任・主事 (9/9 研修)	職務別 (14/14 研修)	所属長推薦 (4/4 研修)	申込 (5/5 研修)	全平均
達成率 (%)	98.6	70.4	99.3	96.7	95.8	100	94.8
(参考)昨年度 (%)	98.4	74.8	96.6	98.0	96.7	99.3	94.6

- 昨年度と全平均はほぼ同等であり、概ね、研修内容が教育実践に活用されていると考える。
- 引き続き、受講者のマネジメント力の向上をねらい、特に振り返りを重視し研修方法の工夫改善を図る。

3 今後の方向性

R5まで

受講者によるアンケート（研修直後）	受講者によるアンケート（受講 1 年後）	指導主事等による評価
満足度、理解度、振り返り、活用意識	研修内容活用、手応え、成長	理解度、活用度

↓

R6から

受講者によるアンケート（研修直後、受講 1 年後）、指導主事等による評価
活用意識、行動変容、成果

人材育成基本方針及び育成指標を踏まえた教員研修計画—概要—

人材育成基本方針

広島子どもたちが「心身共にたくましく思いやりのある人」として、その可能性を最大限に発揮できるよう、教職員一人一人が資質能力を向上させるとともに、管理職のリーダーシップのもと、チーム学校として組織的・効果的な取組を行う必要がある。このため、広島市教員研修計画に基づいた、教育に関する専門的事項についての研修等を実施し、学校の教育力を高める人材を育成する。

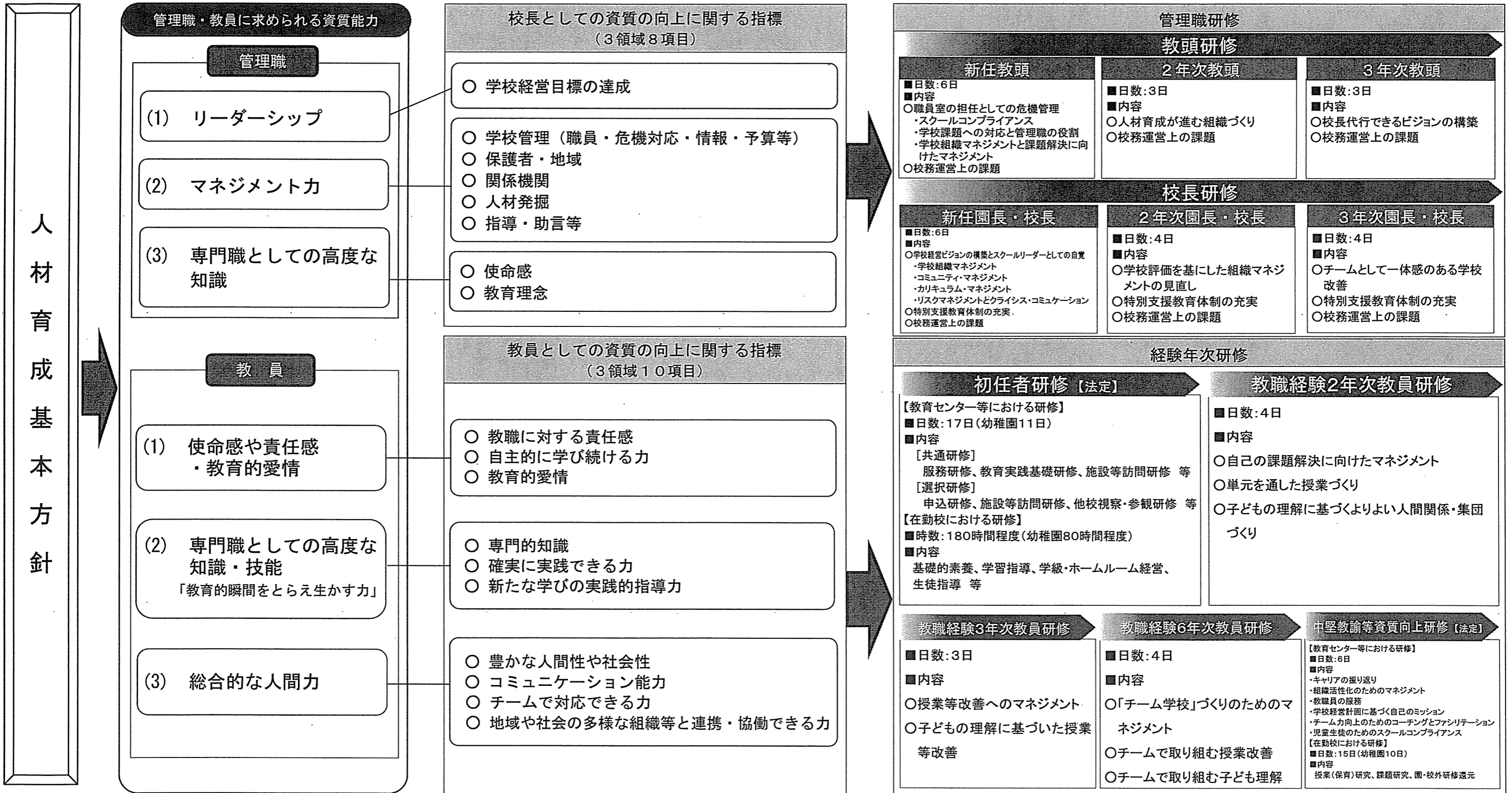
校長及び教員としての資質の向上に関する指標

「指標※」は、教員等が研修を通じて資質の向上を図る際の目安とするとともに、更に高度な段階を目指す手掛かりとなるもの。また、教員等の資質の向上を担う教育委員会と教員養成を担う大学等が共通認識を図り、身に付ける資質能力を明確化したもの。※ 教育公務員特例法の改正(H29.4.1施行)に伴い策定、R4.12に一部変更

教員研修計画

校長及び教員が「指標」を踏まえ、それぞれのキャリアに応じて研修や自己啓発に取り組み、意図的・計画的に資質能力の向上を図ることができるよう、経験年次ごとの研修内容等を具体的に示したもの。

また、主任・主事等職務別の研修や、授業づくり・学校づくりの推進者育成のための研修、自己の課題に応じ選択して受講する研修についても示している。



校長及び教員としての資質の向上に関する指標

【教員】

3領域	10項目	番号	内 容	若手前期 (1~3年次)	若手後期 (4~6年次)	中堅 育成期 (7年次~)	
使命感や責任感・教育的愛情	教員に対する責任感	1	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。				
		2	教育公務員として服務規律(不祥事防止、コンプライアンス)を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。				
		3	生命・心身を脅かす事故・災害等に普段から備え、危機管理の知識や視点を持ち、様々な場面に対応できる。				
		4	自己の考えのみで判断せず管理職や同僚の話を聞くなど、客観的な情報に基づいた判断をすることができる。				
	学び続ける力	5	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、自己の成長につなげることができる。				
		6	常にチャレンジ精神や向上心を持ち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。				
		7	社会の動向に関心を持ち、市の教育振興基本計画等(国や県の計画を含む)を踏まえて教育実践を行うことができる。				
		8	幼児、児童及び生徒に公平かつ受容的・共感的に関わり、子どもの行動の内面にある喜びや不安などを捉えることができる。				
		9	常に幼児、児童及び生徒の状況を把握し、変化を捉え、子どもにとって何が最善かを踏まえ、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。				
		10	書籍や研修等から今日的な教育の動向を把握し、専門的知識・技能を習得することができる。				
専門職としての高度な知識・技能	①子ども理解	11	幼児、児童及び生徒同士の関係や仲間集団を把握し、よりよい人間関係づくりや集団づくりに取り組むことができる。				
		12	特別な配慮や支援を必要とする幼児、児童及び生徒の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。				
		②生徒指導	13	自尊感情を育むための手立てについて理解し、幼児、児童及び生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。			
			14	キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて、幼児、児童及び生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。			
			15	個々の生徒指導上の課題等について、その予防・解決に向けての教育相談の意義や理論を理解し、適切な指導・支援を行うことができる。			
			16	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。			
		③学級づくり	17	幼児、児童及び生徒の特性やよさを認め、幼児、児童及び生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。			
			18	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。			
			19	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。			
			20	幼児、児童及び生徒一人一人の特性やよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。			
			21	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。			
			22	学習指導要領等と幼児、児童及び生徒の実態を踏まえ、学習指導案を作成することができる。			
	23		発問や板書、机間指導等を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。				
	24		学習指導案や日々の授業計画等に基づき、授業を実践することができる。				
	④授業づくり	25	学校教育目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。				
		26	授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。				
		27	学習評価の在り方を理解し、評価基準を用いて幼児、児童及び生徒の学習状況を把握することができる。				
		28	同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。				
	⑤課題解決	29	教科等における自校の課題について、教育データ等を活用して分析・考察し、学力の定着・向上等に取り組むことができる。				
		30	カリキュラム・マネジメントの意義を踏まえ、PDCAサイクルを生かした学習指導等について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。				
		31	学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見し、建設的に意見を述べるることができる。				
		32	探究型の学習、活用型の学習、協働学習等の新たな学びを取り入れた授業を実践することができる。				
	総合的な人間力	豊かな社会性や人間性	34	自己のストレス解消法を見つけ、健康的な生活習慣を維持することができる。			
			35	言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応をすることができる。			
			36	スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。			
			37	人権尊重の精神を理解し、多様な価値観を尊重しながら自らの人権意識を高めることができる。			
		コミュニケーション能力	38	幼児、児童及び生徒との人間関係の重要性を理解し、積極的にコミュニケーションを図ることができる。			
			39	悩みや困ったことが生じた場合等も含め日常的に、管理職や同僚に相談したり進捗状況を報告したりすることができる。			
対応できる力			40	同僚の教育実践について、学び合う意識をもって助言することができる。			
			41	同僚の特性やよさを見取り、それらを生かしたよりよい「チーム学校」づくりに貢献することができる。			
			42	「チーム学校」の一員として自己の役割を自覚し、全体を俯瞰しつつ学校運営に貢献することができる。			
43			現状にとどまることなく、よりよい「チーム学校」づくりや問題解決に向けて対応することができる。				
多様な関係者との連携・協働等とできる力	44	地域の教育資源の情報収集を行い、日々の教育活動に生かすことができる。					
	45	ホームページや学校だより等による学校の情報発信に積極的に貢献することができる。					
46	学年・学校内での共通認識のもと、児童教育センター、警察等、外部の専門機関と連携を図ることができる。						

【管理職】

3領域	8項目	番号	内 容	新任 教頭	2年次 教頭	3年次 教頭	新任 園長 校長	2年次 園長 校長	3年次 園長 校長
リーダーシップ	学校の経営目標の達成	1	自校の現状や課題を把握し、課題解決に向けての戦略を構築するとともに、自校の経営計画をたて、カリキュラム・マネジメント等のPDCAサイクルに基づいた実践をすることができる。						
		2	学校経営における園長・校長のリーダーシップとその発揮の在り方について理解し、学校経営方針を明確に示し、リーダーシップを発揮することができる。						
		3	自校の抱える課題を明確にし、その解決のための組織・具体策等を園長・校長に具申することができる。						
		4	先輩の園長・校長から、企画委員会を活用した学校経営等についての実践を聞くなどして、組織活性化のための見直しをもつとともに、実際に取組を進めることができる。						
	マネジメント力	学校管理(職員・危機対応・情報・予算等)	5	園長・校長の経営方針を踏まえながら校務分掌の見直しについて考え、改善案を具申することができる。					
			6	教職員の健康づくりに関する正しい知識を学び、労務管理や心の健康問題に対して適切に対処することができる。					
			7	日々の教職員の服務管理(不祥事防止、コンプライアンス)を適切に行うとともに、服務事故に適切に対応することができる。					
			8	経験や事例に基づき、自校の学校事故やいじめ等の対応マニュアルの作成、見直しを行うなど、未然防止策を積極的に講じることができる。					
		9	学校事故やいじめが認知された場合等において、関係機関と連携して、適切に対応することができる。						
		10	学校納入金事務の流れについて理解し、適切に指導するとともに、会計事故に適切に対応することができる。						
		11	事務職員と連携を図りながら、効果的な予算執行に向けた見直しをすることができる。						
		12	広島市情報セキュリティポリシー(情報セキュリティ対策基準)における、電子情報の持ち出し・持ち込みのルールと具体的な管理方法について理解し、適切に対応することができる。						
保護者・地域		13	自校に向けられた保護者・地域からの様々な要望に対し、適切に対処することができる。						
		14	「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」やコミュニティ・スクールの趣旨を理解し、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進のために、保護者や地域住民と連携・協働による取組を進めることができる。						
	15	特別な配慮を必要とする幼児、児童及び生徒への対応にかかわり、子ども及び保護者に、合理的配慮の見地から、学校の方針等の話をすることができる。							
	16	学校ホームページの管理や学校だよりの活用等、広報活動について学ぶとともに、外部に適切に広報、情報提供を行うことができる。							
17	学校の教育活動に、外部の人材を活用することができる。								
機関係	18	児童療育センターや警察等、様々な外部の専門機関と適切に連携して、課題に対応することができる。							
	19	教育委員会と適切に連携して、課題に対応することができる。							
発人掘材	20	主幹教諭や管理職への昇任希望がある職員を見極め、園長・校長に具申することができる。							
	21	教職員の日々の職務に取り組む姿勢等を観察し、その人の経験や能力、意欲、人柄、人望などについて、把握することができる。							
指導・助言等	22	業績評価(自己申告)書等から教職員のキャリアプランに応じて適切なミッションを示すなど、職員の意欲付けにつながる指導・助言を行うことができる。							
	23	コーチング等様々な人材育成の技法について学び、それらを活用して人材育成を行うことができる。							
	24	教職員の日常の職務記録を作成するとともに、業績評価の基本方針に基づき、業績評価を行い、それに基づいて業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。							
	25	授業等の観察を行い、観察シートに授業等の様子を記録するとともに、観察終了後及び業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。							
	26	園・校内研修の企画・運営・管理にかかわる助言を行うことができる。							
	27	教育関連法規の改正、学習指導要領等の改訂などによる新たな教育課題について学び、適切に対応することができる。							
使命感	28	学校経営の最高責任者としての園長・校長に求められる使命及びコンプライアンスについて理解し、適切に対応することができる。							
	29	広島市教育大綱や広島市教育振興基本計画に基づく主要施策について理解し、自校の教育活動に生かすことができる。							
	30	園長・校長の意を汲んだ講話を、園長・校長に代わって行うことができる。							
	31	新聞、書物、講演等、様々な機会を捉え、社会の動向やニーズを把握し、自校の教育活動に生かすことができる。							

(網掛け部)は、資質を身に付けておくべき主なキャリアの段階を示す。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標(研修マップ)

資料4

広島市教育委員会

【教員】		3領域	10項目	番号	内 容	若手前期 (1~3年次)	若手後期 (4~6年次)	中堅 育成期 (7年次~)	
使命感や責任感・教育的愛情	教職に対する責任感			1	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。				
				2	教育公務員として服務規律(不祥事防止、コンプライアンス)を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。	初	6	中	
				3	生命・心身を脅かす事故・災害等に普段から備え、危機管理の知識や視点を持ち、様々な場面に対応できる。	初			
				4	自己の考えのみで判断せず管理職や同僚の話を聞くなど、客観的な情報に基づいた判断をすることができる。			中	
	学び自主的に力				5	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、自己の成長につなげることができる。	初,2		
					6	常にチャレンジ精神や向上心を持ち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。	初,2		
					7	社会の動向に関心を持ち、市の教育振興基本計画等(国や県の計画を含む)を踏まえて教育実践を行うことができる。		6	
	教育的愛情				8	幼児、児童及び生徒に公平かつ受容的・共感的に関わり、子どもの行動の内面にある喜びや不安などを捉えることができる。	初,2	6	中
					9	常に幼児、児童及び生徒の状況を把握し、変化を捉え、子どもにとって何が最善かを踏まえ、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。	初,2,3	6	中
専門職としての高度な知識・技能	①子ども理解			10	書籍や研修等から今日的な教育の動向を把握し、専門的知識・技能を習得することができる。				
				11	幼児、児童及び生徒同士の関係や仲間関係を把握し、よりよい人間関係づくりや集団づくりに取り組むことができる。	初,2	6	中	
				12	特別な配慮や支援を必要とする幼児、児童及び生徒の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。		6	中	
				13	自尊感情を育むための手立てについて理解し、幼児、児童及び生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。		6		
				14	キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて、幼児、児童及び生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。		6		
				15	個々の生徒指導上の課題等について、その予防・解決に向けての教育相談の意義や理論を理解し、適切な指導・支援を行うことができる。				
				16	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	初,2	6	中	
				17	幼児、児童及び生徒の特性やよさを認め、幼児、児童及び生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。	初,2	6		
				18	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。				
				19	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。				
	②生徒指導				20	幼児、児童及び生徒一人一人の特性やよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。	2		
					21	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。	2		
					22	学習指導要領等と幼児、児童及び生徒の実態を踏まえ、学習指導案等を作成することができる。	初		
					23	発問や板書、机間指導等を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。	初,3		
					24	学習指導案や日々の授業計画等に基づき、授業を実践することができる。	初,2,3		
					25	学校教育目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。			
					26	授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。			
					27	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて幼児、児童及び生徒の学習状況を把握することができる。		6	
	③学級づくり				28	同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。	3		
					29	教科等における自校の課題について、教育データ等を活用して分析・考察し、学力の定着・向上等に取り組むことができる。		6	中
					30	カリキュラム・マネジメントの意義を踏まえ、PDCAサイクルを生かした学習指導等について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。		6	中
					31	学校を取り巻く状況を把握・分析し、学校組織の課題を発見し、建設的に意見を述べるることができる。			中
					32	探究型の学習、活用型の学習、協働学習等の新たな学びを取り入れた授業を実践することができる。		6	
					33	学校におけるICTの活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用することができる。	2	6	
	④授業づくり				34	自己のストレス解消法を見つけ、健康的な生活習慣を維持することができる。			
					35	言葉遣いやマナーなどの社会人としての常識を身に付けた対応をすることができる。	初		
					36	スケジュール管理に努め、時間や提出期限等を守ることができる。			
					37	人権尊重の精神を理解し、多様な価値観を尊重しながら自らの人権意識を高めることができる。			
38					幼児、児童及び生徒との人間関係の重要性を理解し、積極的にコミュニケーションを図ることができる。	初,2	6	中	
39					悩みや困ったことが生じた場合等も含め日常的に、管理職や同僚に相談したり進捗状況を報告したりすることができる。	初			
40					同僚の教育実践について、学び合う意識をもって助言することができる。			中	
41					同僚の特性やよさを見取り、それらを生かしたよりよい「チーム学校」づくりに貢献することができる。	初	6	中	
42					「チーム学校」の一員として自己の役割を自覚し、全体を俯瞰しつつ学校運営に貢献することができる。	初	6	中	
43					現状にとどまることなく、よりよい「チーム学校」づくりや問題解決に向けて対応することができる。			中	
⑤課題解決				44	地域の教育資源の情報収集を行い、日々の教育活動に生かすことができる。				
				45	ホームページや学校だより等による学校の情報発信に積極的に貢献することができる。				
				46	学年・学校内での共通認識のもと、児童療育センター、警察等、外部の専門機関と連携を図ることができる。			中	

【管理職】		3領域	8項目	番号	内 容	新任 教頭	2年次 教頭	3年次 教頭	新任 園長 校長	2年次 園長 校長	3年次 園長 校長	
リーダーシップ	学校の経営目標の達成			1	自校の現状や課題を把握し、課題解決に向けての戦略を構築するとともに、自校の経営計画をたて、カリキュラム・マネジメント等のPDCAサイクルに基づいた実践をすることができる。							
				2	学校経営における園長・校長のリーダーシップとその発揮の在り方について理解し、学校経営方針を明確に示し、リーダーシップを発揮することができる。							
				3	自校の抱える課題を明確にし、その解決のための組織・具体策等を園長・校長に具申することができる。							
				4	先輩の園長・校長から、企画委員会を活用した学校経営等についての実践を聞くなどして、組織活性化のための見直しをもつとともに、実際に取組を進めることができる。							
	マネジメント力	保護者・地域			5	園長・校長の経営方針を踏まえながら校務分掌の見直しについて考え、改善案を具申することができる。						
					6	教職員の健康づくりに関する正しい知識を学び、労務管理や心の健康問題に対して適切に対応することができる。						
					7	日々の教職員の服務管理(不祥事防止、コンプライアンス)を適切に行うとともに、服務事故に適切に対応することができる。						
					8	経験や事例に基づき、自校の学校事故やいじめ等の対応マニュアルの作成、見直しを行うなど、未然防止策を積極的に講じることができる。						
					9	学校事故やいじめが認知された場合等において、関係機関と連携して、適切に対応することができる。						
					10	学校納入金事務の流れについて理解し、適切に指導するとともに、会計事故に適切に対応することができる。						
11					事務職員と連携を図りながら、効果的な予算執行に向けた見直しをすることができる。							
機関係				12	広島市情報セキュリティポリシー(情報セキュリティ対策基準)における、電子情報の持ち出し・持ち込みのルールと具体的な管理方法について理解し、適切に対応することができる。							
				13	自校に向けられた保護者・地域からの様々な要望に対し、適切に対応することができる。							
				14	「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」やコミュニティ・スクールの趣旨を理解し、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進のために、保護者や地域住民と連携・協働による取組を進めることができる。							
				15	特別な配慮を必要とする幼児、児童及び生徒への対応にかかわり、子ども及び保護者に、合理的配慮の見地から、学校の方針等の話をすることができる。							
				16	学校ホームページの管理や学校だよりの活用等、広報活動について学ぶとともに、外部に適切に広報、情報提供を行うことができる。							
				17	学校の教育活動に、外部の人材を活用することができる。							
発人掘材				18	児童療育センターや警察等、様々な外部の専門機関と適切に連携して、課題に対応することができる。							
				19	教育委員会と適切に連携して、課題に対応することができる。							
				20	主幹教諭や管理職への昇任希望がある職員を見極め、園長・校長に具申することができる。							
				21	教職員の日々の職務に取り組む姿勢等を観察し、その人の経験や能力、意欲、人柄、人望などについて、把握することができる。							
				22	業績評価(自己申告)等から教職員のキャリアプランに応じて適切なミッションを示すなど、職員の意欲付けにつながる指導・助言を行うことができる。							
				23	コーチング等様々な人材育成の技法について学び、それらを活用して人材育成を行うことができる。							
指導・助言等				24	教職員の日常の職務記録を作成するとともに、業績評価の基本方針に基づき、業績評価を行い、それに基づいて業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。							
				25	授業等の観察を行い、観察シートに授業等の様子を記録するとともに、観察終了後及び業績評価の面談時に、教職員に指導することができる。							
				26	園・校内研修の企画・運営・管理にかかわる助言を行うことができる。							
				27	教育関連法規の改正、学習指導要領等の改訂などによる新たな教育課題について学び、適切に対応することができる。							
使命感				28	学校経営の最高責任者としての園長・校長に求められる使命及びコンプライアンスについて理解し、適切に対応することができる。							
				29	広島市教育大綱や広島市教育振興基本計画に基づく主要施策について理解し、自校の教育活動に生かすことができる。							
				30	園長・校長の意を汲んだ講話を、園長・校長に代わって行うことができる。							
				31	新聞、書物、講演等、様々な機会を捉え、社会の動向やニーズを把握し、自校の教育活動に生かすことができる。							

- ・ (網掛け部)は、資質を身に付けておくべき主なキャリアの段階を示す。
- ・ 「初」は初任者研修において資質の向上を図る内容を取り扱うことを示す。この他、「2」は2年次研修、「3」は3年次研修、「6」は6年次研修、「中」は中堅教諭等資質向上研修、「■」は各管理職研修、表記のない網掛け部はOJT等において資質の向上を図る内容を取り扱うことを示す。

令和6年度広島市教員研修計画(案)

		採用前	0年	1年	2年	3年	5年	10年	15年	20年	25年	30年	
各キャリアステージにおける教職員像	ステージ	職務能力の形成		職務能力の向上			職務能力の充実			職務能力の発展・円熟			
	個々の教職員として	教育実践の基礎・基本を身に付け、積極的に教育実践に取り組む教職員		教育実践の基礎・基本に立ち、経験を生かして教育実践の工夫改善に努めながら教育実践に取り組む教職員			教育実践の経験を生かして得意分野づくりや個性の伸長に努めながら創造的に教育実践に取り組む教職員			得意分野や個性を生かしながらい視野に立って、教育的に教育実践を積み重ねていく教職員			
	チーム学校の一員として	チーム学校の一員としての自覚をもち、校務遂行の基礎・基本を身に付け、積極的に担当業務の遂行に取り組む教職員		チーム学校の一員としての自覚を深め、校務遂行の工夫改善に努めて、担当業務の遂行に取り組む教職員			チーム学校のリーダーとしての自覚をもち、校務の状況掌握に努めて、創造的に組織を経営していく教職員			チーム学校のリーダーとしての自覚を深め、広い視野に立って学校経営へ参画し、創造的に組織を経営していく教職員			
対象者全員が受講する研修	採用前研修	主として「専門的知識の向上」に関する研修		主として「教師の豊かな人間性や教育的愛情等」に関する研修			主として「子ども理解、生徒指導」に関する研修			主として「授業づくり、新たな学び」に関する研修			
	未来教師セミナー	主として「専門的知識の向上」に関する研修		主として「教師の豊かな人間性や教育的愛情等」に関する研修			主として「子ども理解、生徒指導」に関する研修			主として「授業づくり、新たな学び」に関する研修			
初任者研修	【教育センター等における研修】	【教育センター等における研修】		【教育センター等における研修】			【教育センター等における研修】			【教育センター等における研修】			
	【在動校における研修】	【在動校における研修】		【在動校における研修】			【在動校における研修】			【在動校における研修】			
教職経験2年次教員研修	【共通研修】	【共通研修】		【共通研修】			【共通研修】			【共通研修】			
	【選択研修】	【選択研修】		【選択研修】			【選択研修】			【選択研修】			
教職経験3年次教員研修	【共通研修】	【共通研修】		【共通研修】			【共通研修】			【共通研修】			
	【選択研修】	【選択研修】		【選択研修】			【選択研修】			【選択研修】			
教職経験6年次教員研修	【共通研修】	【共通研修】		【共通研修】			【共通研修】			【共通研修】			
	【選択研修】	【選択研修】		【選択研修】			【選択研修】			【選択研修】			
中堅教諭等資質向上研修	【共通研修】	【共通研修】		【共通研修】			【共通研修】			【共通研修】			
	【選択研修】	【選択研修】		【選択研修】			【選択研修】			【選択研修】			
教頭研修	【共通研修】	【共通研修】		【共通研修】			【共通研修】			【共通研修】			
	【選択研修】	【選択研修】		【選択研修】			【選択研修】			【選択研修】			
校長研修	【共通研修】	【共通研修】		【共通研修】			【共通研修】			【共通研修】			
	【選択研修】	【選択研修】		【選択研修】			【選択研修】			【選択研修】			
主任・主事等研修		【教務主任研修】		【幼稚園主任研修】		【新任進路指導主事研修】		【新任保健主事研修】		【研修主事研修】		【生徒指導主事研修】	
職務別研修		【初任者研修指導教員研修】		【特別支援学級等新規担当教員研修】		【通級指導教室等新規担当教員研修】		【特別支援教育コーディネーター研修】		【情報教育担当者研修】		【校長代行できるビジョンの構築】	
学校づくり推進のための人材育成		【教員長期研修】		【教育活動推進リーダー育成研修】		【主幹教諭等研修】		【学校評価研修】		【校内授業研究の充実に係る研修】		【特別支援教育体制の充実】	

0 J T、校内研修、自己啓発、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

※ 研修の実施時期や会場等については、別途実施要項等で定めるとともに、教育センターホームページに掲載しています。

令和6年度研修形態について

資料6

区分	番号	研修名	研修形態(回)		
			集合	オンライン	
				同時 双方向	動画等 資料配信
	0	採用前(教職基礎)研修	3		
	1	小学校臨時的任用教諭研修(新規者)	5		
	2	小学校臨時的任用教諭研修(経験者)	3		
	3	中学校臨時的任用教諭研修(新規者)	5		
	4	中学校臨時的任用教諭研修(経験者)	3		
	5	初任者研修	7	2	3
	6	新規採用幼稚園教諭研修	8	1	2
	7	新規採用養護教諭研修	5	2	3
	8	新規採用栄養教諭研修	5	2	3
	9	教職経験2年次教員研修	3	1	
	10	教職経験3年次教員研修	1	1	1
	11	教職経験6年次教員研修	3		1
	12	中堅教諭等資質向上研修	5		1
	13	中堅養護教諭資質向上研修	5		1
	14	中堅栄養教諭資質向上研修	5		1
	15	教務主任研修	4	1	1
	16	幼稚園主任研修	2		
	17	新任進路指導主事研修	1	1	
	18	新任保健主事研修	1		
	19	新任生徒指導主事研修	4		1
	20	生徒指導主事研修	2		1
	21	新任教育相談・支援主任研修	4		2
	22	教育相談・支援主任研修	2		1
	23	新任学年主任研修	1		1
	24	研修主事研修		1	1
	25	新任教頭研修	6		
	26	経験2年次教頭研修	3		
	27	経験3年次教頭研修	3		
	28	新任園長・校長研修	6		
	29	経験2年次園長・校長研修	4		
	30	経験3年次園長・校長研修	4		
	31	初任者研修指導教員研修	4	1	
	32	特別支援学級等新規担当教員研修	3		3
	33	通級指導教室等新規担当教員研修	4		1
		新任特別支援教育コーディネーター研修【幼】	3		2
	34	新任特別支援教育コーディネーター研修【小・中・中等前・特】	2	1	2
		新任特別支援教育コーディネーター研修【高・中等後】	2	1	2
		特別支援教育コーディネーター研修【幼】	3		
	35	特別支援教育コーディネーター研修【小・中・中等前・特】	3		
		特別支援教育コーディネーター研修【高・中等後】	2	1	
	36	新任情報教育担当者研修	4		1
	37	情報教育担当者研修	1	1	
	38	小学校英語専科指導教員研修	3		
	39	中・高等学校英語指導助手(ALT)活用研修	2		
	40	栄養教諭・学校栄養職員研修	1		
	41	食育推進担当者研修	1		1
	42	学校保健研修	3		
	43	子どもの安全に係る研修	1		
	44	学校安全担当者研修	1		
	小計		156	17	36

対象者全員が受講する研修【対象者全員】

区分	番号	研修名	研修形態(回)		
			集合	オンライン	
				同時 双方向	動画等 資料配信
受所属する者の推薦により推薦	45	教育活動推進リーダー育成研修	7		
	46	主幹教諭等研修	7	1	
	47	学校評価研修	3		1
	48	校内授業研究の充実に係る研修	5		
	小計		22	1	1

※この他に学校訪問指導あり

区分	番号	研修名	研修形態(回)		
			集合	オンライン	
				同時 双方向	動画等 資料配信
	49	特別支援学級授業づくり研修(子どもの実態から始まる授業づくり)	2		
	50	通級指導教室等担当教員研修(実態に基づく実践力の向上)	2		
	51	司書教諭・学校図書館担当教諭研修(見通しをもった学校図書館経営の工夫)	1		
	52	人権教育研修(人権感覚を高める指導の工夫)	1		
	53	国際理解教育(国際理解教育の充実)	1		
	54	平和教育研修(広島市の平和教育の充実)	1		
	55	子どもの理解研修I(認め支え合う人間関係づくり)	1		
	56	子どもの理解研修II(発達障害等のある子どもの理解と支援)		1	
	57	子どもの理解研修III(発達障害と生徒指導～いじめへの適切な対応～)	1		
	58	子どもの理解研修IV(不登校・引きこもりの子どもの理解と保護者との関わり)	1		
	59	小学校各教科等授業づくり研修(授業改善の処方箋)	1	1	
	60	中・高等学校各教科等授業づくり研修(授業改善の処方箋)	1	1	
	61	新たな学びに向けた授業づくり研修(これからの時代に求められる新たな学びに向けた授業の姿)		1	
	62	高等学校教育専門研修I(各教科における探究的な学習の充実に向けた授業改善)		1	
	63	高等学校教育専門研修II(特別な配慮や支援を要する生徒の理解と支援)		1	
	64	高等学校教育専門研修III(未来を切り拓くキャリア教育～学びの、その先へ～)		1	
	65	幼稚園教育実践研修(「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した領域「健康」の指導の充実)	1		
	66	幼稚園教育実践研修(幼児の発達に応じた遊びの指導の理解)	1		
	67	特別支援教育基礎研修I(発達障害等のある子どもの困り感に対するアプローチ)	2		
	68	特別支援教育基礎研修II(吃音のある子どもへの対応)	1		
	69	ICTを活用した授業づくり研修(「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実につながるICT活用)	1	1	
	70	メンタルヘルス研修(効果的な心身のセルフケア)	1		
	小計		20	8	0

研修形態	
集合	オンライン
	同時 双方向
198	26 37

★指定枠を超えて、希望に応じて聴講できる者

園長・校長・教頭・部主事
学校事務職員
全教職員(但し、中堅教諭等資質向上研修に関しては、本研修受講済の者に限る)